

患者さんへ

「術後造影 CT を用いた、経皮的動脈弁移植術後患者の冠動脈アクセシビリティ評価」に関する研究について

この研究は、通常の診療で得られた記録を使って行われます。このような研究は、国が定めた指針に基づき、対象となる患者さんお一人ずつから直接同意を得るかわりに、研究の目的を含む研究の実施についての情報を公開することが必要とされています。研究結果は学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

1. 研究の対象

2015年1月～2020年12月に当院で LOTUS 弁を用いて経皮的動脈弁移植術（TAVI）を受けられた方

2. 研究目的・方法

TAVI 治療術後においては、カテーテルによる冠動脈アクセスが困難となる事例が一定数報告されております。本研究では、LOTUS 弁による TAVI 治療が行われた重症動脈弁狭窄症患者さんを対象として、術後 CT における冠動脈アクセシビリティの有無について検討します。冠動脈アクセシビリティとは、冠動脈用カテーテルが冠動脈入口に適切に挿入され、冠動脈造影検査ないしは加療が行えることを指します。これにより TAVI 術後の、将来的なカテーテルによる冠動脈介入の可否を判定するためのアルゴリズムの確立ができる可能性があると考えられます。なおこの研究は過去の診療記録を用いて行われ、研究期間は院長承認後から 2022 年 4 月までです。

3. 情報の利用拒否

情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんのご家族等で患者さんの意思及び利益を代弁できる代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、「5. お問い合わせ先」までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

4. 研究に用いる情報の種類

年齢、性別、病歴、経皮的動脈弁移植術前後で撮像された CT 画像 等

5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者、照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

森山 典晃

湘南鎌倉総合病院 循環器内科

住所： 〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本 1370-1 連絡先：0467-46-1717 （病院代表）